

### I-3. 保証依頼書について (奨学生本人 **成年用**)

#### 【訂正方法】

訂正がある場合は、二重線で削除し、余白に記入してください。

※訂正印は不要

学生本人の「**現住所**」を記入  
※住民票の住所と違って構いません。現在住んでいる住所を記入してください。

2箇所本人の署名がされているか確認してください。

署名の一部訂正・部分訂正は不可です。全てを二重線で消して訂正してあるか確認してください。

誤) ~~奨学太郎~~  
市谷

正) ~~奨学太郎~~  
市谷太郎

### 保証依頼書 (機関保証)

(機構・協会用)

① 保証依頼書(兼保証委託契約書)

返還誓約書に記載の誓約年月日を記入!!  
×記入日

申込日 令和 X 年 4 月 1 日

公益財団法人  
日本国際教育支援協会理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という。)の奨学金の貸与を申し込むにあたり、機構に対するインターネットによる奨学金申込の入力内容又は奨学金申込書の記載内容並びに確認書の記載内容により申込みをする奨学金の貸与(返還)について保証することを裏面記載の保証委託約款に同意し、以下の【確認事項】を確認したうえで、公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「協会」という。)に委託します。

また、本依頼書の記載事項が虚偽の内容によるものであった場合、機関保証への加入が無効となっても異議はありません。

【確認事項】

- 奨学金は、私本人が自分の意思と責任により申込みを行い、毎月の貸与額は、真に必要な額を選択している。
- 奨学金は責任を持って返還する必要がある(保証料を支払うことで返還が免除されることはない)。
- 奨学金の返還が困難な場合、救済制度(減額返還、返還期限猶予)がある。
- 奨学金の返還を一定期間延滞した場合、私の代わりに貸対しその分を返済しなければならない。
- 代位弁済が行われるとその情報が個人信用情報機関にその利用に、より厳しい制約を受けることがある。

クリエイティブデザイン学科

奨学生番号 8XX04000000

学校名	京都芸術デザイン専門学校	学部・課程・分野	商業実務	学科	タロウ	奨学生番号	8XX04000000		
学校の種別	大学(学部)・大学院・短期大学・高等専門学校・専門学校(専門課程)	学務番号	フリガナ	シヨウガク	タロウ	学籍番号	XXXX0000		
氏名	奨学太郎	生年月日	〒135-8630	東京都江東区青海2-2-1	電話番号(自宅・携帯)	090 (XXX) 0000	入学期	XX年11月11日	
現住所								卒業期	

2箇所本人の署名がされているか確認してください。

返還誓約書に記載の誓約年月日を記入!!  
×記入日

依頼日 令和 X 年 4 月 1 日

② 保証料支払依頼書

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿  
公益財団法人 日本国際教育支援協会理事長 殿

上記保証依頼書による保証委託契約に基づいて、私が公益財団法人日本国際教育支援協会に支払うべき保証料については、奨学金の交付の際に貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構があらかじめ差し引いて支払うこととしてください。

本人(自署) 氏名(必ず記入) 奨学太郎

(注) この保証依頼書及び保証料支払依頼書については、返還誓約書と同時に学校に提出してください。

本書にご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「協会」という。)が行う保証業務及び独立行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という。)が行う奨学金貸与業務(返還業務を含む。)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む。)が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が協会に提供されます。

返還誓約書の借用金額欄右上に印字の誓約年月日を記入!  
×記入日ではありません

【2箇所】

返還誓約書の奨学生番号を記入しているか、誤りはないか確認してください。

学生本人の生年月日を記入

※未成年用には親権者欄があります。

4/9